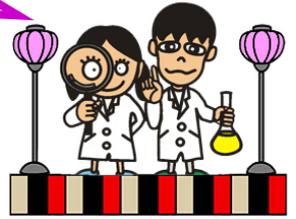


感染症に気をつけよう!

2022年【3月号】



横浜市内の感染症 流行状況

3月8日
発行

感染症*	流行状況	説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行 横ばい	陽性患者の年代別割合では、1月に比べて2月は、特に10歳未満が増えました。【'22.2号】
梅毒**	発生 横ばい	報告数の比較的多い状況が、継続しています。【チラシ 梅毒知ってますか?無料・匿名検査】

国立感染症研究所*

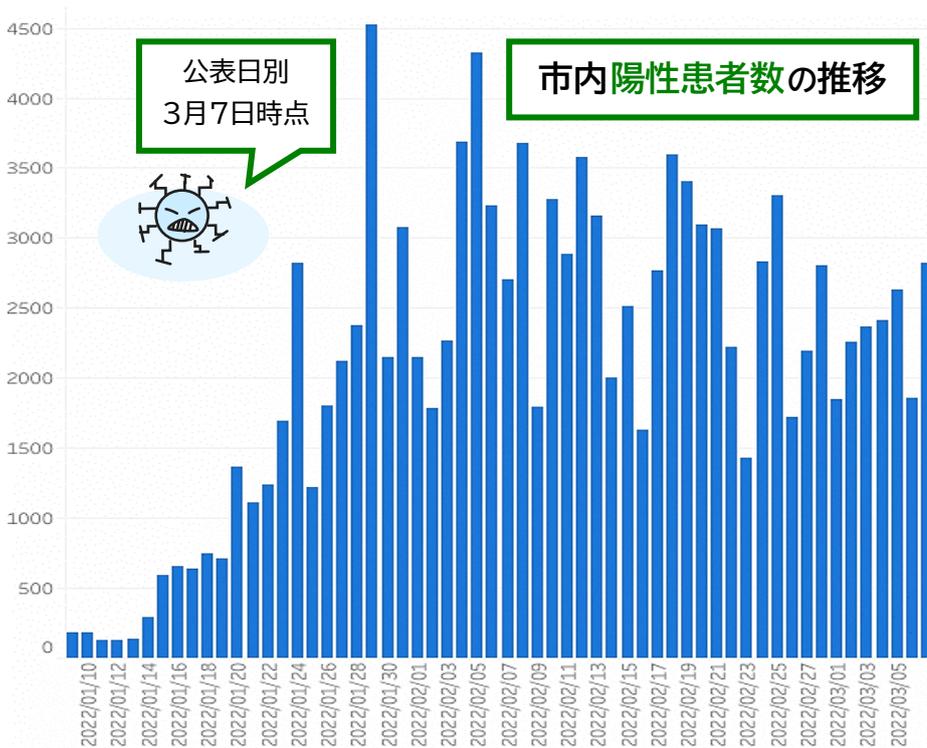
厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



洗っていない手で顔を触らないでください!

ウイルスが付着した手で目・鼻・口に触ると、粘膜からウイルスが体内に入り感染(接触感染)してしまう可能性があります。



人は無意識に顔を触っています!

その頻度は1時間に平均23回、このうち目・鼻・口などの粘膜は約44%を占めているとの報告があります。*



参考リンク: 横浜市保健所

【「はたらく細胞」と横浜市がコラボレーション!】 【新型コロナウイルス感染症に関する情報について】